

学びの部屋 ～音楽科～ 「生活の中の音楽とつながる鑑賞の授業」

新型コロナウイルス感染拡大により歌唱や吹奏楽器の活動が制限される中で、鑑賞の授業の大切さを感じています。曲や演奏のよさを見つける聴き方を身に付け、生活の中にあふれる様々な音楽のよさに気付いてほしいと考えています。

4年生の「ファランドール」の鑑賞では、まず「王の行進」「馬のダンス」という2つの旋律のどちらが現れるか見付けます。子供たちは「王」や「馬」の旋律に合う動きを工夫しながら、それぞれの特徴について気付いたことや感じたことを言葉で表していきます。最後にカラヤン指揮とプレートル指揮の演奏の映像を視聴しました。「もし、チケットをもらえたとしたら、どちらの演奏会に行ってみたいですか。」と尋ねたところ、「タンブリンが活躍して迫力があるから、カラヤンの演奏会に行きたい。」

「ぼくは落ち着いた演奏の方がいいからプレートルの方がいいな。」などと様々な声が聞かれました。4年生の冬休みの宿題は「好きな歌を見つけよう」です。歌声や音楽、歌詞のどこに魅力を感じるのか、子供たちの答えが楽しみです。

(音楽専科 石井 ゆきこ)



研究授業 1年生 「あきと いっしょに」

生活科「あきと いっしょに」では、自然を使った遊びの面白さや自然の不思議さに気付きながら、みんなで楽しく遊ぶことをねらいとして、繰り返し秋の自然と触れ合ってきました。

夏から秋の移り変わりを写真や掲示物等で確認し、実際に林試の森公園や芝公園へ秋を探しに行きました。どんぐりや松ぼっくり、落ち葉などたくさんの秋の自然物を実際に触ったり比べたり、それらを使って遊んだりすることで、子供たちは「作りたい」「飾りたい」「遊びたい」という思いや願いをもち、秋のおもちゃ作りを始めました。そして、自分たちが作ってみたいものを本で調べたり友達と話し合ったりしながら、「もっと作りたい」「もっと楽しく遊べるようにしたい」と意欲を高めていきました。

最後には、1年生みんなで「あきまつり」を行い、みんなで自分が作ったものを紹介したり一緒に遊んだりしました。活動の振り返りでは、「1年生みんなで秋のおもちゃで遊べて楽しかったです。」「冬にはどんなことができるかが楽しみです。」「秋のものでたくさん工夫することができたから冬の学習も頑張りたいです。」と、これからの学習に向けても意欲をもつことができました。今後の生活科の学習でも工夫して遊んだり生活したりできるように指導していきます。

(1年担任 三山 明子 浦波 美菜 釣 将大)



書き初め

書き初めには「1年の抱負や計画をしたためることで、目標成就や新年をお祝いする」という意味が込められています。芝小の書き初め会は「日本の伝統的な行事に触れること」や「新たな気持ちでのびのびと力強い字を書くこと」をねらいとしています。子供たちは書き初め会に向けて2学期から練習してきました。「この画はもう少し長い方がいいかな。」「画数が多いと字が大きくなってしまうな。」と、手本を見ながら何度も書いてきました。御家庭でも冬休みに保護者のみなさんと一緒に取り組んだことと思います。御協力ありがとうございました。

さて、12日(水)には1・2・5・6年生、13日(木)には3・4年生の書き初め会を行います。2学期の書写の授業や冬休みの課題で取り組んだ練習の成果を発揮できるよう、担任と講師と共に指導してまいります。

子供たちが書いた作品は1月14日(金)～21日(金)の書き初め展で展示いたします。ぜひ御覧ください。

(書き初め担当 高橋 さや香)